

現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月21日	
NO	31
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。開口廻りの斜筋の設置長さ (交点よりL1 : $D13 \times 40d = 520\text{mm}$) が計画 (施工図) 通りであることを確認。	




令和5年3月21日	
NO	32
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
スリーブ貫通部廻りには、鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が不足する箇所が存在していることを指摘。	




令和5年3月21日	
NO	33
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月22日	
NO	34
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	



令和5年3月22日	
NO	35
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

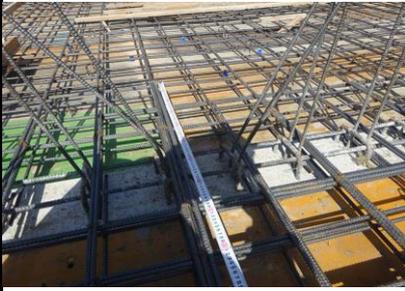


令和5年3月21日	
NO	36
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
CY 3 通りの住戸間部分の上端筋の定着寸法が計画 (施工図) の寸法 (L2 : D13 × 35 = 455mm) に不足する箇所があることを指摘。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月22日	
NO	37
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
上記指摘に関しては、その場にて是正 (補強筋の追加設置) が行われたことを確認済。	




令和5年3月22日	
NO	38
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋: 短辺方向) D10・D13@100mmチドリ	

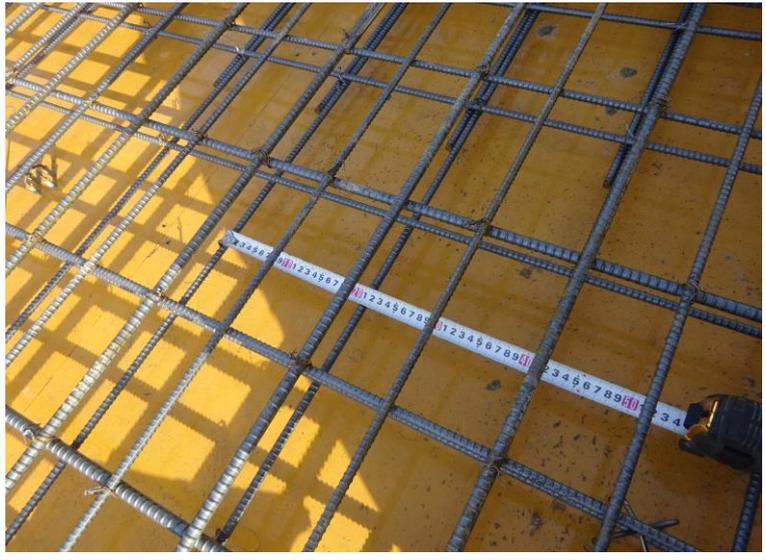



令和5年3月22日	
NO	39
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS3)
同上。上端筋 (配力筋: 長辺方向) D10・D13@200mmチドリ	

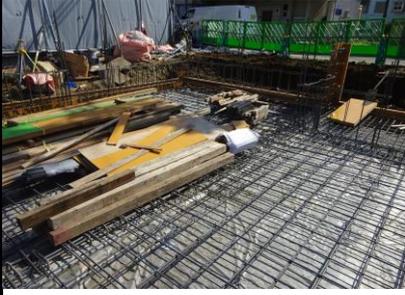



現況検査により認められる状況の記録

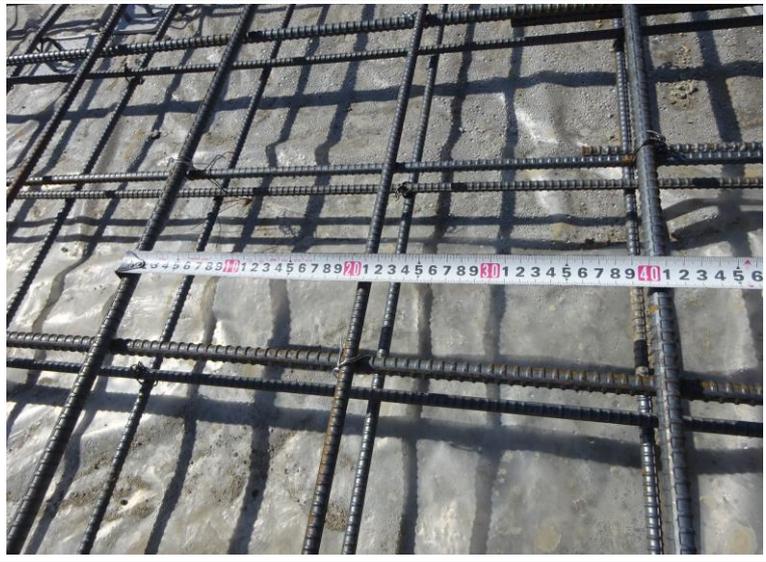
令和5年3月22日	
NO	40
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS3)
同上。下端筋 (縦横共) D10@200mm	

令和5年3月22日	
NO	41
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
CD棟 (D棟) の床スラブ (S3) の配筋状況。埋め戻し部となる範囲 (住戸下部) には、計画通りに防湿シートが敷設されていることを確認。	

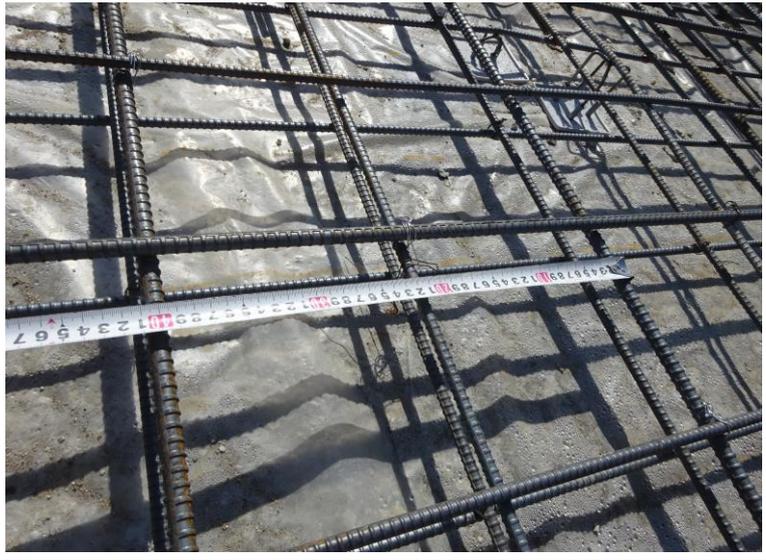



令和5年3月22日	
NO	42
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	

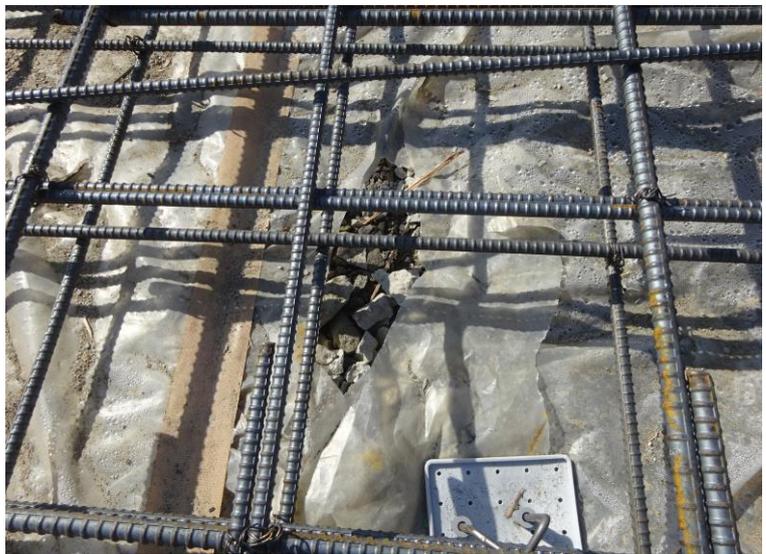



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月22日	
NO	43
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋：D10・D13@200mmチドリ（縦横共）、下端筋：D10@200mm（縦横共）	
	



令和5年3月22日	
NO	44
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
防湿シートには、部分的に破けなどが生じている箇所があることを指摘。	
	



令和5年3月22日	
NO	45
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
上記指摘に関しては、その場にて是正（テープ張り補強）が行われたことを確認済。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月22日	
NO	46
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。(同様箇所は是正状況)	



令和5年3月22日	
NO	47
場所	CD棟間外部廊下
部位	床スラブ (S3)
CD棟間外部廊下の床スラブ (S3) の配筋状況。	



令和5年3月22日	
NO	48
場所	基礎梁打継部
部位	止水剤
埋め戻し部の基礎梁打継部 (シーリング打継ぎ目地部との取り付け部) には、止水剤 (クニシール) の施工範囲が不足している箇所があることを指摘。	



現況検査により認められる状況の記録

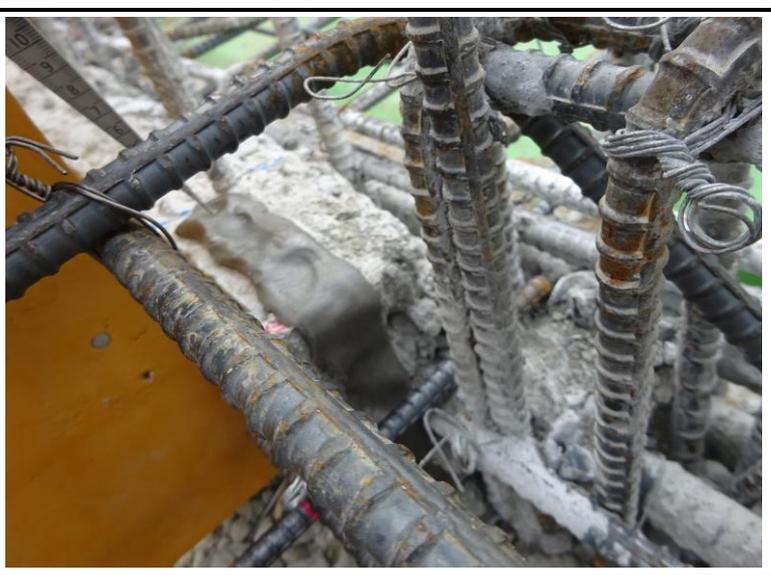
令和5年3月22日	
NO	49
場所	基礎梁打継部
部位	止水剤
同上。	




令和5年3月23日	
NO	50
場所	基礎梁打継部
部位	止水剤
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	




令和5年3月23日	
NO	51
場所	基礎梁打継部
部位	止水剤
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月22日	
NO	52
場所	CD棟外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2)
CX1~BX1通り間に設置されている外部廊下 (CS2) の配筋状況。	




令和5年3月22日	
NO	53
場所	CD棟外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋: 短辺方向) D13@200mm	




令和5年3月22日	
NO	54
場所	CD棟外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2)
同上。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月22日	
NO	55
場所	CD棟外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋(配力筋:長辺方向) D10@200mm	




令和5年3月22日	
NO	56
場所	CD棟外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2)
同上。下端筋D10@200mm (縦横共)	

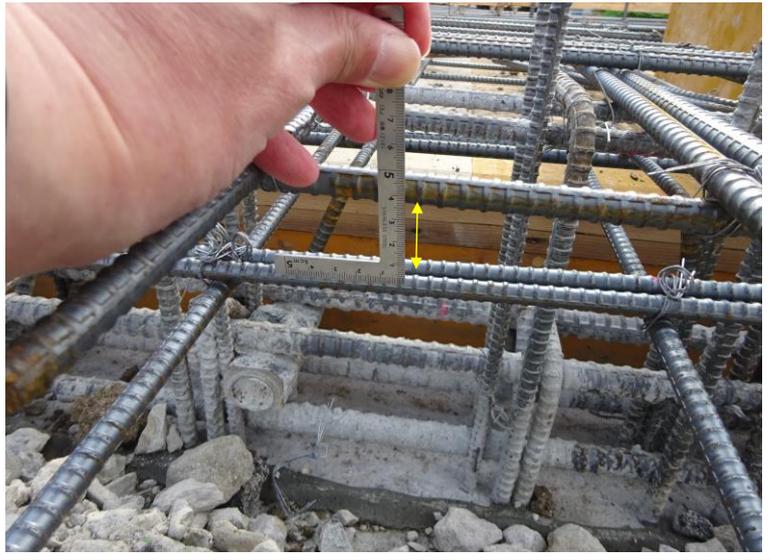



令和5年3月22日	
NO	57
場所	CD棟外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2)
当該箇所では、全般的に上端筋の配力筋と下端筋の配力筋間の空き寸法(25mm以上)が不足していることを指摘。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月23日	
NO	58
場所	CD棟外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

令和5年3月22日	
NO	59
場所	BD棟間外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2A)
BD棟間に設置されている外部廊下 (CS2A) の配筋 (施工) 状況。	




令和5年3月22日	
NO	
場所	BD棟間外部廊下
部位	キャンティスラブ (CS2A)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@100mm (縦横共)	